



北部公民館は、地域に密着した行事をたくさん開催しています。5月に行われる学区体育祭、8月の夏祭り、9月の敬老会、11月の産業文化祭、1月の歩こう大会。これらを5大行事と言っています。

特に学区体育祭は、小学校と合同で実施する一大イベントです。小学校と合同の体育祭を開催するのは市内でも北部地区だけで、先人の多くの努力と工夫により現在の姿があります。

参加者は保育園児、小・中学生、地域選抜の選手、各種クラブ・団体、若大(老人会)の皆さん約千500人。小学生の真剣な演技、若大さんの頑張り、大人の力強さなど素晴らしい演技の数々が肌で感じとれます。また、応援・演技を通して、地域の人



とのふれあいを一層深めることもできます。

呼び物は小学生の「スタンプ」。見事に完成したときは拍手がグラウンドに鳴り響きます。また、地域の代表選手による得点種目「たがまわし」は昔とったきねづかでベテランが力を発揮します。花形は「年齢別リレー」。最近では、少子化の影響で選手の選考に苦労しますが、プログラムの最後を飾るにふさわしい種目です。そして、かわいい保育園児による交通安全演技「チビッコおまわりさん」は、地域の交通安全に一役かっています。

5回におよぶ事前打ち合せや準備と大変ですが、体育指導員を中心に総代、駐在員など多くの方の協力で毎年開催できています。今後も地域の多くの方が参加し「学びの舎」のテーマにふさわしい魅力ある公民館活動を実施していきたいと思えます。



世界少年野球大会 日本代表

伊藤 寛士かんじくん(形原町)

■野球をはじめたきっかけは 保育園の時、母親がソフトボールをやっていたので、一緒にキャッチボールなどをやったことがきっかけです。

■小学1年生の時に、形原アトムズ(軟式野球)に入団し、本格的に野球をはじめました。

■どのくらい練習をしているの 毎週土曜日と日曜日の2日間、午前9時から午後6時まで練習しています。平日は自宅などで自主練習をしています。

■これまでの成績は 小学5年生の時に硬式野球の岡崎葵ボーイズに入団し、5年生と6年生の時にそれぞれ全国大会で優勝しました。

■今回は、6年生の時の全国大会での活躍が認められ、選考会を経て日本代表(全国で15人。

### 世界少年野球大会で日本代表の4番を打つ「未来のプロ野球選手」



チーム代表・星野仙一(ほか)に選ばれました。

■世界少年野球大会の結果は 大会はアメリカのメリーランド州で9日間行われ、アメリカや韓国、カナダなど6カ国が参加しました。

■予選は、4番センターで出場し、5戦5勝でした。また、ピッチャーとしても登板しました。

■準決勝では、予選で勝利したドミニカ共和国に逆転負けを喫し、結果、日本は3位でした。

■憧れの選手、好きな球団は 阪神タイガースの城島選手です。好きな球団は、地元の中日ドラゴンズです。

■将来の夢、目標は 当面の目標は、野球の強い高校に入学して、甲子園に出場することです。

■夢は、プロ野球に入って活躍することです。